

平成23年7月28日

文化庁文化交流使の決定及び指名書交付式について

文化庁は、平成15年度から、芸術家、文化人、研究者等、文化に携わる人々を「文化交流使」に指名し、世界の人々の日本文化への理解の深化や、日本と外国の文化人のネットワークの形成・強化につながる活動を展開しています。

この度、下記のとおり、海外派遣型に1グループ(3名)と5名、短期指名型に3組を新たに文化交流使に指名することを決定しました。

これを受け、来る7月28日(木)11時より、東海大学校友会館において、新任の文化交流使に対し、近藤誠一文化庁長官から指名書を交付するセレモニーを開催いたしますので、お知らせいたします。

<お問い合わせ> 文化庁長官官房国際課
課長 佐藤 透 (内線 2845)
室長 北山 浩士 (内線 3153)
電話：03-5253-4111 (代表)
03-6734-3110 (直通)

記

1. 指名予定者 / 団体・活動国・派遣期間（予定）

■ 海外派遣型 ※五十音順

あ う ん ・A U N(和楽器奏者)	タイ及び周辺国	H23年12月～ H24年2月
いのつえ りよつへい 井上 良平(和太鼓、三味線) いのうえ こうへい 井上 公平(和太鼓・三味線・笛) さいとう ひでゆき 齊藤 秀之(チャツパ)		
	イスラエル	H23年11月～ H23年12月
	ドイツ、オランダ、オーストリア スイス、ポーランド、ベルギー等	H23年12月～ H24年2月
うすだ とうせん ・薄田 東仙(書道家・刻字家)	オーストラリア	H24年1月～ H24年2月
さ さ き ゆきつな ・佐佐木 幸綱(歌人)	韓 国	H23年12月～ H24年3月
しおた ちはる ・塩田 千春(現代美術家)	エストニア	H23年10月～ H23年11月
たつみ まんじろう ・辰巳 満次郎(能楽師)		
ときとも ひさこ ・時友 尚子(染色家)		

■ 短期指名型 ※派遣順

こ で ん ・詰傳の会	ドイツ等	H23年9月	(文化庁「国際芸術交流支援事業」公演名) Sujoyoururi---Power of Japanese Traditional Vocal Music(Music of BUNRAKU)(仮題)
・ミュージック・フロム・ジャパン 推進実行委員会	アメリカ	H24年2月	ミュージック・フロム・ジャパン 2012年音楽祭
・特定非営利活動法人 ACT.JT	アメリカ	H24年3月	「萬歳楽 2012」アメリカ公演

2. 指名書交付式

日時：平成23年7月28日（木）11:00～12:15

場所：東海大学校友会館 三保の間（指名書交付式）・霞の間（懇談会）

所在地：東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビル 35階 電話：03-3581-0121

※取材をご希望の方は、平成23年7月27日（水）15時迄に文化庁長官官房国際課国際文化交流室振興係の下記取材申込先迄お知らせ下さい。

<別添資料>

資料1. 文化庁文化交流使事業について

資料2. 平成23年度文化庁文化交流使指名予定者・団体

資料3. 文化交流使プロフィール（海外派遣型）

【取材申込先】

文化庁長官官房国際課

国際文化交流室振興係

岩村・田邊・蓮沼

電話：03-5253-4111（内線 3167）

03-6734-3110（直通）

FAX：03-6734-3813

文化庁文化交流使指名書交付式 取材要領について

1. 議事次第

10:50 報道関係者受付開始

※報道の方は、東海大学校友会館(霞が関ビル35階)「三保の間」の報道受付で、社名と氏名をお知らせください。
受付後は係員の誘導にしたがって御入場ください。

【指名書交付式】 11:00 開 会

文化庁長官挨拶
指名書交付(五十音順)

【海外派遣型】

- ・AUN(井上良平、井上公平、齊藤秀之)(和楽器奏者)
- ・薄田 東仙 (刻字家・書道家)
- ・佐佐木 幸綱 (歌人)
- ・塩田 千春 (現代美術家)
- ・辰巳 満次郎 (能楽師)
- ・時友 尚子 (染色家)

【短期指名型】(派遣順)

- ・訃傳の会(人形浄瑠璃文楽(素浄瑠璃))
- ・特定非営利活動法人 ACT. JT (伝統芸能・大衆芸能)
- ※ミュージック・フロム・ジャパン推進実行委員会(雅楽)は欠席予定。

文化交流使挨拶(出席者全員)

全体写真撮影

11:35 終 了

【懇談会】 11:40 開 会

歓 談

12:15 閉 会

2. 留意事項

※当日は、自社の腕章をご用意くださいますようお願いいたします。

※カメラ(ムービー、スチール)の撮影は、「指名書交付式」会場内後方の1箇所をお願いいたします。会場内を移動しての取材は、ご遠慮願います。なお、全体写真撮影の際は、前方にご移動いただけます。

※各個人へのインタビューをご希望の場合は、下記申込先まで事前にご連絡願います。なお、インタビューは、歓談の時間帯にお願いいたします。

※会場内では、携帯電話の御使用はお控えください。

※プレスの方も懇談会にご参加いただけます。

3. 取材申込先

文化庁長官官房国際課国際文化交流室振興係（岩村・田邊・蓮沼）
電話：03-5253-4111（内線 3167） FAX：03-6734-3813

締切：平成23年7月27日（水）15:00

文化庁文化交流使事業について（概要） （Japan Cultural Envoy）

（前年度予算額 100百万円）
平成23年度予定額 83百万円

【目的】

文化庁では、平成15年度より、芸術家、文化人、研究者等、文化に携わる人々を一定期間「文化交流使」に指名し、日本文化紹介活動を展開することにより、我が国の文化的イメージの向上と諸外国との文化人や芸術家間ネットワーク形成を強化することを目指す。

【事業の概要】

「文化交流使」の活動には、（1）海外派遣型（2）短期指名型のカテゴリがあり、それぞれの概要は以下のとおり。

（1）海外派遣型「文化交流使」

①活動の概要

日本在住の芸術家、文化人が、一つ若しくは複数の外国に一定期間滞在し、当該国所在の受入れ機関の協力を得つつ、日本の文化に関する講演、講習や実演デモンストレーション等を行う。

（海外派遣型には、複数の芸術家で構成された1組の文化交流使とみなすことがふさわしいと文化庁が判断したものも含まれる。）

②指名期間

原則として1ヶ月以上数ヶ月以内（最長1年）

③文化庁の負担

旅費（渡航費用、滞在費（定額の宿泊費と日当）、活動経費（活動期間に応じた定額の謝金）

（2）短期指名型「文化交流使」（平成20年度新規）

①活動の概要

国際芸術交流支援事業により海外で公演等を行う文化人・芸術家が、現地の学校等で実演会、演奏会等を行う。

②指名期間

原則として14日以内

③文化庁の負担

活動経費（一定額まで）

【活動実績】

平成15年度から22年度までに、延べ80名と14組の文化交流使が世界57カ国で活動を行った。

【「文化交流使」の指名手続】

「文化交流使」は、「文化交流使」事業委員会[※]の推薦を経て、文化庁長官によって指名される。

（※「文化交流使」事業委員会は、「文化交流使」事業の適正・効率的な執行を担保するため、文化庁長官の下に置かれる委員会で、関係行政機関、学識経験者等から構成される。）

平成23年度文化庁文化交流使(海外派遣型)

海外派遣型

氏名	プロフィール	活動国(予定)	受入れ機関(予定)	派遣期間(予定)	活動内容(予定)
あうん A U N いのうえ りょうへい 井上 良平(和太鼓・三味線) 41歳 男性 いのうえ こうへい 井上 公平(和太鼓・三味線・笛) 41歳 男性 さいとう ひでゆき 齊藤 秀之(チャップパ) 42歳 男性	和楽器奏者	タイ及びその周辺国	在タイ大使館、在チェンマイ総領事館他	H23/12/16～ H24/2/26 (40日間) ※一時帰国予定	幼稚園から小、中、高校、大学での演奏やワークショップ、ライブハウスや現地のミュージシャン、タイの民族音楽家との共演や情報交換を行う。さらに劇場で自主公演を行い、より多くの人々に日本文化、和楽器のすばらしさを認めてもらうとともに、音楽を通じて言葉を越えた友好を深める。 なお、12月にはタイ国王誕生日祝賀行事にも出席し、国王をお祝いする演奏をする。
うすだ とうせん 薄田 東仙 63歳 男性	刻字家・書道家	イスラエル	ヘブライ大学、ティコティン美術館、バルラン大学	H23/11/3～ H23/12/4 (32日間)	現地の学生を対象に、書道講座を実施し、表現したい言葉、文言を、完成度の高い作品に仕上げることを目指す、また、それら完成作品を持ち寄り、作品の意味や講座の感想を発表する場を持つことで相互の交流を図る。日本書道を通じて、美しい日本の文字の美的感覚を共有し、もって日本の心や文化を知ってもらう。
ささき ゆきつな 佐佐木 幸綱 72歳 男性	歌人	ドイツ、オランダ、オーストリア、スイス、ポーランド、ベルギー等	ケルン文化会館、ベルキュージュグラット、ライデン、アムステルダム日本人学校他	H23/12/5～ H24/2/29 (87日間)	日本古典・日本文化及び短歌・短歌史を紹介しながら、以前、ドイツ訪問の折に作ったレクラム文庫の100首選(ドイツ語版)をテキストに講演を行うほか、短歌制作のワークショップを行い、もって日本の伝統文化を、短歌を通じて理解してもらう。
しおた ちはる 塩田 千春 39歳 女性	現代美術家	オーストラリア	キャンベラ美術大学、シドニー現代美術館、MONA美術館	H24/1/25～ H24/2/25 (30日間)	ホバート市にあるMONA美術館(Museum of Old and New Art)で作品が展示される機会に、オーストラリアの現代美術の状況に触れる機会を持ち、また、現地にて公開制作、講演、市民、地元アーティストとの交流をはかることを通じ、日豪の文化や美術の交流を図る。
たつみ まんじろう 辰巳 満次郎 51歳 男性	能楽師	韓国	湖西大学、大学(芸術関係)、日本文化センター他	H23/12/26～ H24/3/5 (35日間) ※一時帰国予定	「能楽」の歴史や特徴について講義するとともに、「ワークショップ」や実演を行い、「観る・聴く・触れる」という体感を通して能楽を深く理解してもらう。また、現地の実演家との意見交換や交流の場を設け、シンポジウムを公開で行い、実演比較も行う。これにより、日本の精神性・文化性を知ってもらい、文化交流が国際交流に大きな貢献をすることを実践する。
ときとも ひさこ 時友 尚子 68歳 女性	染色家	エストニア	エストニア・アカデミー・オブ・アーツ、日本文化館	H23/10/26～ H23/11/25 (31日間)	日本の染色の歴史と技法の解説から、日本の染・絞り・草木染のワークショップ等を行うことで、日本の染の多様で繊細なことを理解してもらう。特にファッションやグラフィック関係の対象者に受けってもらい、特別な道具がなくともアイデアでもしるい模様を染め出せることを知ってもらい、日本の農地から新しい絞り技法が考案されたように、エストニアにおいても独自の絞りの表現が生み出されることを期待する。

既に活動中

まなべ なおゆき 真鍋 尚之 39歳 男性	雅楽演奏家、作曲家	ドイツ、フランス、オーストリア、スウェーデン、ロシア、ベルギー、オランダ	ベルリン芸術大学、中国音楽センター、グラーツ音楽大学、パリ文化会館等	H23/5/14～ H24/5/13 (365日間)	笙の演奏体験・歌唱指導を取り入れたワークショップ、外国の作曲家との共同作業、西洋やアジアの楽器を含めたアンサンブルなどの交流活動を通して、雅楽の音楽的価値を認識し、広く笙の作品が生まれる基礎を築くとともに、さらなる創作活動と交流活動を生み出す。
-----------------------------	-----------	--------------------------------------	------------------------------------	----------------------------------	--

平成23年度文化庁文化交流使(短期指名型)

短期指名型

対象:文化庁「国際芸術交流支援事業」で採択された事業の中から3件。

基本的に、雅楽、能楽、文楽、歌舞伎その他の伝統芸能、落語その他の大衆芸能など、日本文化にかかる公演を行う文化・芸術団体。

候補団体	分野	活動国	活動概要(予定)	交流場所(予定)	活動時期(予定)	国際芸術交流支援事業概要
こでん 詰傳の会	人形浄 瑠璃文 楽(素浄 瑠璃)	ドイツ	重要無形文化財文楽で使用される義太夫節の普及のためと文楽の紹介を兼ねて、ハンブルクの大学等において素浄瑠璃を演奏する。その際、字幕をつけての公演を行うことにより、日本の文化力の高さ、音楽性の高さを認識してもらう。	ハンブルク 他	平成23年9月	公演名: Sujyoururi---Power of Japanese Traditional Vocal Music(Music of BUNRAKU) (仮題) 公演都市: ドイツ(ハンデンブルグ、オルデンプルグ、デュッセルドルフ、バイロイト、アウグスブルグ)、オーストリア(インスブルグ、ウィーン)、チェコ(プラハ、プルノー)
ミュージック・フロム・ ジャパン推進実行委員 会	雅楽	アメリカ	ワシントンDC桜祭り100周年記念行事前夜祭として、在米日本大使館提携公立小学校(予定)において、雅楽アンサンブルによる雅楽紹介事業を行う。日本で最も古い公演芸術である雅楽を米国の子どもたちに聴かせ、またその楽器の演奏を直接体験する機会を作り、日本に古来から連綿と息づいている伝統文化を理解し、日本の歴史や日本人の心を知ってもらう。	ワシントンDC	平成24年2月	公演名: ミュージック・フロム・ジャパン2012年音楽祭 公演都市: ワシントンDC、ニューヨーク(アメリカ)
特定非営利活動法人 ACT. JT	伝統芸 能・大衆 芸能	アメリカ	ワシントンDC市内にて、「萬(狂言)歳(朗読しばい)楽(楽劇大田楽)」を上演するほか、楽劇大田楽の躍りを指導し、交流を図る。また、震災支援への感謝を表し、象徴的な場所での小公演も現地と相談中。	ワシントンDC 他	平成24年3月	公演名: 「萬歳楽2012」アメリカ公演 公演都市: ワシントンDC、フィラデルフィア(アメリカ)

文化交流使プロフィール

○ 海外派遣型(五十音順)

- ・A U N (タイ及びその周辺国)
〔井上良平氏、井上公平氏、齊藤秀之氏〕

- ・薄田 東仙 氏 (イスラエル)
- ・佐佐木 幸綱 氏 (ドイツ、オランダ、オーストリア、スイス、ポーランド、ベルギー等)
- ・塩田 千春 氏 (オーストラリア)
- ・辰巳 満次郎 氏 (韓国)
- ・時友 尚子 氏 (エストニア)

あうん

AUN（和楽器奏者）略歴

※井上良平、井上公平氏、齊藤秀之氏の3名を「AUN」として指名。

いのうえ りょうへい
井上 良平

【生年月日】 1969年12月25日
【出生地】 大阪府堺市中区
【現住所】 東京都世田谷区
【本名】 井上 良平(いのうえ りょうへい)
【現職】 AUN(和太鼓・三味線奏者)
AUN J-クラシック・オーケストラメンバー



いのうえ こうへい
井上 公平

【生年月日】 1969年12月25日
【出生地】 大阪府堺市中区
【現住所】 東京都品川区
【本名】 井上 公平(いのうえ こうへい)
【現職】 AUN(和太鼓・三味線・笛奏者)
AUN J-クラシック・オーケストラメンバー



さいとう ひでゆき
齊藤 秀之

【生年月日】 1969年7月21日
【出生地】 東京都中央区
【現住所】 東京都狛江市
【本名】 齊藤 秀之(さいとう ひでゆき)
【現職】 チャップソリスト
AUN J-クラシック・オーケストラメンバー



【主な音楽活動／受賞歴】

① AUN (井上良平・井上公平)

カーネギーホール公演(4回)

エミー賞授賞式、世界遺産熊野古道、平等院鳳凰堂、蔵王堂でのライブ
天皇陛下即位10周年記念ライブ、皇太子殿下参列の行事にて演奏
アメリカ・ヨーロッパ・アジア・中近東・南米など、世界30ヶ国以上で公演

② 齊藤 秀之

鼓童時代、ハリウッド映画の音楽に演奏家として多数参加

鼓童時代、日本ゴールドディスク大賞(邦楽部門)日本レコード大賞特別賞受賞

ノーベル平和賞100周年記念コンサート(オスロ)やサッカー・フランスワールドカップ大会のテーマ音楽に参加するなど、国内外150都市以上での演奏活動を行い、国内外の様々なアーティストと多数共演

【経歴】

① AUN (井上良平・井上公平)

井上良平、井上公平の双子ユニット。18歳の時、鬼太鼓座に参加。12年間、座の中心的プレイヤーとして世界各地16カ国、国内外で1000回を超える公演活動を行う。

2000年：新しい表現を求め、AUNを結成。太鼓、三味線、笛などの和楽器の魅力を最大限に引き出した新しいミクスチャーミュージックに挑戦。

2006年：日本文化継承を伝える活動をニューヨークに広げ、マンハッタンでのライブ活動や、全米各地のフェスティバルへ参加。その年には外務省に招聘され、南米ガテマラ、コスタリカ、コロンビア・ツアーも展開。また、国土交通省「ビジットジャパン・キャンペーン」をプロデュース。そのテーマソングの作曲・演奏を手がけ、日本の伝統を和楽器音楽を通じて世界に発信することに軸足を置き始める。

2008年：AUN J-クラシック・オーケストラを結成し、齊藤秀之を含む計8名のバンドとして活動中。
(※AUN J-クラシック・オーケストラの活動については下記③参照)

② 齊藤 秀之

1987年：佐渡島を拠点とする和太鼓グループ『鼓童』に参加。

2004年：17年間活動してきた『鼓童』から独立

2005年：「鳴物師 秀一HIDE一」としてソロ活動を開始。太鼓演奏家ではなく、あえて鳴り物師として銘打つのは、チャップパ(小さなシンバル)に関しての演奏の評価が高いことからきている。

現在：日本で唯一のチャップパソリストとしてライブ活動やワークショップ講師として注目されている。全国各地の和太鼓グループでチャップパの存在が増してきている中で、それまでの概念を覆す音色、ダイナミクスを活かした軽快な演奏スタイルは異彩を放つ。

2008年：AUN J-クラシック・オーケストラを結成し、井上良平・公平の両氏を含む計8名のバンドとして活動中。(※AUN J-クラシック・オーケストラの活動については下記③参照)

③ AUN J-クラシック・オーケストラ

2008年：8名(井上良平・公平氏、齊藤秀之氏を含む)による和楽器だけのAUN J-クラシック・オーケストラを結成。

海外で人気の宮崎駿率いるジブリの魅力を和楽器で表現したアルバム「和楽器でジブリ」を発売。また、日本各地に里山を再生する環境保護プロジェクトにも参画。CDの売り上げの一部を寄付し、人々が集まれる里山の再生を目指す。

2010年：第二弾アルバム「桜-SAKURA-」をリリース。奈良吉野の桜の保全のために売り上げの一部を寄付する環境への取り組みも積極的に行っている。

薄田東仙（刻字家・書道家）略歴

【生年月日】 1948年3月21日
【出生地】 新潟県新潟市
【現住所】 新潟県新潟市
【本名】 薄田 泰元(うすだ たいげん)
【現職】 刻字家・書道家
(財)毎日書道展審査会員(1981年～)
NHK新潟文化センター講師(1983年～)
日本刻字協会会長(2006年～)
国際刻字聯盟会長(2006年～)
千歳会代表(2006年～)
曹洞宗延命寺住職(2007年～)
新潟県青少年健全育成県民会議会長(2008年～)
全日本書道連盟理事(2009年～) 等
国際書道文化発展協議会 代表理事



【学歴】

1970年3月 駒沢大学仏教学部 卒業
1972年3月 駒沢大学大学院人文科学研究科修士課程修了

【受賞歴】

1993年11月 文部大臣表彰
1997年11月 (社)青少年育成国民会議表彰
2009年6月 毎日書道会書道顕彰受賞
2011年3月 第30回日本刻字展 第1回文部科学大臣賞受賞 等

【活動歴】

1967年 故 青山杉雨、故 長揚石に師事
1997年 (社)日本PTA全国協議会顧問
1995、97年 文部省中央教育審議会委員(第15、16期)、95年 文部省保健体育審議会委員
1998年 郵政省「青少年と放送に関する調査研究会」委員
2004年 (社)全日本書道連盟評議委員
2005年 曹洞宗青少年書道展審査委員
2007年 銀座鳩居堂において第1回千歳会刻字展(以後、第2回～第5回)
2008年～2010年 イスラエル ヘブライ大学 書道刻字講座講師招へい
2010年 西安 興教寺より玄奘三蔵法師金銅坐像請来 大和にて佛像展、9月開眼入佛式
2010年 朱鷺メッセ アートギャラリー万代島 個展
2010年 韓日書芸術招待二人展(主催:大韓民国大使館韓国文化院)金明玉、薄田東仙
2011年 プラハ国立美術館主催「煌く日本の現代書 巨匠展」の関連行事で、プラハ国立美術館の企画「篆書講座」の講師、ワークショップ講師招へい 等

さ さ き ゆ き つ な
佐佐木幸綱 (歌人) 略歴

【生年月日】 1938 年 10 月 8 日

【出生地】 東京都文京区

【現住所】 東京都世田谷区

【本名】 佐佐木幸綱(ささきゆきつな)

【現職】 日本芸術院会員

現代歌人協会理事長

早稲田大学名誉教授

朝日新聞『朝日歌壇』、東京新聞『東京歌壇』選者



【学歴】

1957 年 成蹊高等学校卒業

1963 年 早稲田大学第一文学部国文科卒業

1966 年 早稲田大学文学研究科修士課程修了

【所属歴】

1984 年 早稲田大学政経学部助教授(～1987 年)

1987 年 早稲田大学政経学部教授(～2008 年)

1992 年 早稲田大学在外研究員としてオランダ・ライデン大学に在籍(～1993 年)

2008 年 早稲田大学名誉教授

【受賞歴】

1971 年 現代歌人協会賞(歌集『群黎』)

1990 年 日本詩歌文学館賞(歌集『金の獅子』)

1994 年 遼空賞(歌集『瀧の時間』)

2000 年 若山牧水賞(歌集『旅人』)

1999 年 斎藤茂吉短歌文学賞(歌集『呑牛』)

2000 年 芸術選奨文部大臣賞(歌集『アニマ』)

2002 年 紫綬褒章(歌集『旅人』『アニマ』)

2004 年 現代短歌大賞(歌集『はじめての雪』)

2008 年 日本芸術院会員

【活動内容】

1966 年～2008 年まで現代歌人協会理事、2008 年より現代歌人協会理事長。1983 年～現在まで東京新聞「東京歌壇」選者。1988 年～現在まで朝日新聞「朝日歌壇」選者。1999 年『佐々木幸綱の世界』全 16 巻を刊行。

しおた ちはる
塩田 千春(現代美術家) 略歴

【生年月日】 1972 年
【出生地】 大阪府吹田市
【現住所】 ドイツ・ベルリン
【本名】 塩田千春(しおたちはる)
【現職】 京都精華大学客員教授
カリフォルニア芸術大学客員教授



【学歴】
1996 年 京都精華大学洋画科卒業
1993-1994 年 オーストラリア国立大学キャンベラスク
ールオブアートに交換留学生として留学
1997-1999 年 ブラウンシュバイク美術大学(HBK) 研
究生として在籍
1999-2003 年 ベルリン大学(UDK)在籍

【受賞歴】
2009 年 Docks Art Fair モンブラン賞 受賞、リヨン
2008 年 平成 19 年度芸術選奨 文部科学大臣新人賞、日本
2005 年 文化庁芸術家在外派遣研修員(3年) 日本
2004 年 ベルリン州政府造形芸術奨学生
2002 年 フィリップモリスアートアワード 2002 の大賞受賞 ニューヨーク
2002-2003 年 アカデミー・シュロス・ツリフトから 18 ヶ月間の奨学金シュトゥットガルト 他

【個展】
2011 年「本の記憶」ゲヴァスティ財団(ヴェニス)(協力:ハウチ オフ ヴェニツ、キュレーター:ジェイムス・パ
ットナム)
2008 年「精神の呼吸」国立国際美術館 (大阪)
2004 年「塩田千春展 In Silence」 広島市現代美術館 他

【グループ展】
2011 年 「Inner Voice—内なる声」 金沢 21 世紀美術館(金沢)
メル現代美術国際ビエンナーレ(メル)
2010 年 「あいちトリエンナーレ 2010 -都市の祝祭-」(名古屋)
「瀬戸内国際芸術祭 2010 -アートと海を巡る百日間の冒険-」(豊島)
2009 年 「越後妻有アートトリエンナーレ」 大地の芸術祭(新潟)
2006 年 「熱風変奏曲」 第 6 回光州ビエンナーレ 2006(光州、韓国)
他、USA、スペイン、ドイツ、イギリス、ロシア等世界各地で作品展示

たつみまんじろう

辰巳満次郎（シテ方宝生流能楽師）略歴

【生年月日】 1959年11月19日

【出生地】 神戸市生田区(現 中央区)

【現住所】 東京都目黒区

【本名】 岡田満次郎(おかだまんじろう)

【現職】 シテ方宝生流能楽師

公益社団法人能楽協会著作権委員会本部委員

社団法人宝生会普及委員会副委員長

財団法人友愛会副理事長

NPO 法人世界芸術文化振興会理事

「七宝会」「満次郎の会」、「巽会」、

「宝生流あまねく会」主宰

羽衣国際大学客員研究員(2006年～)



【学歴】

1982年 東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業

【所属歴】

東京藝術大学助手(1986年～1991年)

社団法人日本能楽会会員

公益社団法人能楽協会本部理事(2006年～2011年)

【受賞歴】

2001年 重要無形文化財総合指定認定

2005年 大阪文化祭奨励賞受賞

【活動内容】

父の故辰巳孝に師事し、4歳で初舞台、香里能楽堂建設と共に大阪府寝屋川市に移る。1978年東京藝術大学入学と同時に上京し東京で修行を開始、18世宗家故宝生英雄(ふさお)の内弟子となる。1986年独立、1991年まで東京藝術大学の助手を勤める。

東京大阪間の東海道を中心に、全国で公演や実技指導、普及活動を行う。2000年より能楽協会本部教育特別委員会発足メンバーとして、学校教育における能楽の導入に尽力する。

海外活動としては、ニューヨーク国連前広場、外ルリタン美術館ホール、エジプトスフィンクス前薪能などの海外公演も参画する。他にロンドン・北京・上海・杭州・バンコク・メキシコシティ・ブエノスアイレス・サンチャゴ・ワシントン・パリで公演。国内外においても外国人対象にワークショップを行う。また、伝統的な手法による違和感のない新作活動にも参画し、2006年東西古典芸術文化の融合プロジェクト(羽衣国際大学日本文化研究所制作)として新作能「マクベス」、2008年「楽劇の祭典」源氏物語千年紀(関西楽劇フェスティバル協議会制作)新作能「六条」の演出・主演をする。

流儀において、関西全域を統括し、大阪の宝生流定期能「七宝会」主宰。大曲「石橋連獅子」「乱」「道成寺」「翁」など披演。

とよとも ひさこ
時友 尚子 (染色家) 略歴

- 【生年月日】 1942 年 9 月 26 日
- 【出生地】 岡山県久米郡美咲町
- 【現住所】 岡山県久米郡美咲町
- 【本名】 時友 尚子
- 【現職】 染色家



- 【学歴】
東京染色美術学院卒業

【活動内容】

三越新宿店をはじめ国内での個展を重ね、1992 年オーストラリアで個展、1994 年シンガポール、マレーシア、2000 年マレーシア国立美術館、2006 年タイ、2007 年ニュージーランドで個展とワークショップを開催。国際交流基金の支援で 2003 年 ノルウェー、クロアチア、2005 年アイスランド、エストニア、リトアニア、2009 年ウズベキスタンで染色指導。餅粉での糊作りから糸日本友禅、型染め、ローケツ絞り、草木染めのすべての工程を一人で行っている。